



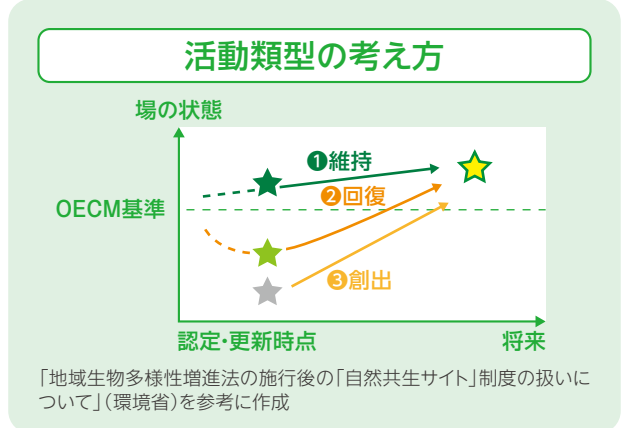
## ▶ 自然共生サイトとは

『民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域』を国が認定する制度として、2023年度(令和5年度)より認定が開始されました。2025年度の法制度化により『民間の取組等によって生物多様性を増進する活動計画』を国が認定し、この計画区域を『自然共生サイト』と呼ぶようになりました。



## 活動計画の類型

場の状態や活動の内容によって分類される3つのタイプ



認定や更新の時点で維持タイプに該当するものがOECMに登録される。

\*1 Other effective area-based conservation measuresの略  
自然公園等の保護地域以外に、民間等の取組により保全が図られている地域や保全を目的としない管理が結果として自然環境を守ることに貢献している地域

30by30\*2の達成に向けて OECM登録することで 生物多様性条約2030年目標である 『昆明・モントリオール生物多様性枠組み』に貢献できます。

\*2 2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として保全する目標



## ▶ 当社の都市型コンパクトサイトで認定を取得

2023年の第1回目環境大臣認定で、当社ビルの屋上ビオトープが名古屋市で唯一自然共生サイトに認定されました。

- 敷地総面積: 0.02ha **日本最小級**
- 多様な生物が生息できる緑地を創出
    - 池や小川、水田、樹林を整備
  - 計画に基づく日常管理、モニタリング
    - 管理計画整備、生息する生き物の調査
  - 地域の高校との連携
    - 希少動物の保全活動
  - 環境学習の受け入れ
    - AELネット\*3主催のスタンプラリー
    - 地元中学校の校外学習の受け入れ
- \*3 愛知県環境学習施設等連絡協議会

